

精神と行動の障害のアドバイザー・グループ

第 13 回社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会委員
国際 WG 協力員
丸田敏雅

第 12 回社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会以降の活動状況は下記の 1～3 である。

1. 直近の精神部門の分野別専門委員会 (Topical Advisory Group: TAG) である、「ICD-10 精神および行動の障害の改訂のための国際アドバイザー・グループ (International Advisory Group for the Revision of ICD-10 Mental and Behavioral Disorders)」(以下 AG とする) が平成 24 年 3 月 8 日～9 日に WHO 本部で開催された。AG の配下に置かれている各ワーキンググループは、クリニカル・ガイドラインのもととなる各障害の Content Form を作成中であり、これらの一部が会議の場で紹介された (内容は非公開)。当初、平成 24 年 5 月頃に web 上これらが公開される予定であったが (ICD-11 β 草案)、作業が計画どおりに進んでおらず現在まで公表されていない。
2. AG の配下のワーキンググループのうち「精神病性障害」の第 3 回会議は、平成 24 年 2 月 20 日、21 日にドイツのデュッセルドルフで開催された。
また、AG の配下に置かれており、今後のフィールド・トライアルを行う Formative Field Study Coordinating Group の第 2 回会議が平成 24 年 5 月 24 日、25 日に Madrid で開催され、今後のフィールド・トライアルの施行実施などについて話し合われた。この Formative Field Study Coordinating Group の第 3 回会議が平成 24 年 11 月 12 日～14 日に東京で開催され、より具体的な方向性が話し合われた。
尚、実際にフィールド・トライアルを行うためのネットワークを構築するために、臨床実践グローバルネットワーク (Global Clinical Practice Network; 以下 GCPN) が web サイトで構築されつつある (GCPN の web サイトは英語、フランス語、スペイン語、アラビア語のほか日本語でも用意されており、日本精神神経学会の web サイトからアクセスできる)。
3. 今後 web 上で公開される ICD-11 草案に関しては、パブリック・コメントが求められ、また、上記のようにフィールド・トライアルも行われる予定である。